

市老協だより

市老協 <https://kyoto-srk.jp>

第59号

令和8年
新年号

『みんなに愛を
お届けします!!』

ご利用者や職員の「大好き」の
気持ちを届けましょうと撮った
一枚です。



KYOTO
かいごフォト
コンテスト

令和6年度 KYOTO かいごフォトコンテスト入選作品
撮影者：特別養護老人ホームみやびその 濱崎都さん

協議会のYouTubeと
Instagram登録を、
ぜひよろしくお願
いいたします！



YouTube



Instagram

INDEX



- 02 新春のご挨拶
- 03 新春のご挨拶 | 書籍紹介
- 04 介護の日記念事業 映画上映会
GRID KYOTO ~京都まちの文化祭~に
参加しました

- 05 KYOTO かいごフォトコンテスト
未来のかいご イラストコンテスト
- 06 特集 働き方改革とワークライフバランス
- 08 令和7年度 市老協主催研修会等について



一般社団法人
京都市老人福祉施設協議会
会長
児玉直久

令和8年 新春のご挨拶

新春の候、皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

平素より、京都市老人福祉施設協議会の活動に対し、深いご理解と温かいご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

超高齢化と人口減少が同時に進行する中、介護や福祉は、特定の人や施設だけで担うものではなく、地域全体で支え合う仕組みを構築することが不可欠となっています。

令和8年度は、介護職員の処遇改善を目的とした介護報酬の臨時改定が予定されるなど、現場を支える人材の確保と定着に向けた重要な節目の年でもあります。

一方で、物価高騰の影響を受け、食費の基準費用額の見直しや、利用者負担の在り方についての議論も進められており、制度の持続性と公平性が問われています。

また、医療と介護の情報連携を強化する「介護情報基盤」が本格稼働を迎え、関係者間の円滑な情報共有を通じた地域包括ケアシステムのさらなる推進が期待されています。加えて、「2040年問題」を見据え、生産性向上や在宅介護を支える地域連携の重要性は、今後ますます高まっていくものと考えます。

京都が長い歴史の中で育んできた、おもてなしの文化は、地域共生社会の礎であり、当協議会の会員施設も、地域の一員として、世代や立場を超えた支え合いの輪を広げる取り組みを進めてまいりました。

本年の干支である「午」が象徴する力強い前進の精神のもと、行政や関係団体、地域住民の皆様との連携を一層深め、誰もが役割を持ち、共に支え合う地域づくりに挑戦してまいります。

本年も、会員施設が地域に根差した存在として安心と信頼を積み重ねながら、一丸となって地域共生社会の実現に向けて貢献してまいります。

皆様にとりまして、希望に満ちた一年となりますことを、心よりお祈り申し上げます。

新年明けましておめでとうございます。

少々、ご挨拶が遅れましたが、私は、令和7年4月1日から京都市老人福祉施設協議会の事務局長に就任致しました塩見徹也と申します。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

私は、京都市役所を退職後、平成30年4月から令和7年3月までの7年間、上京区に拠点を置く「特別養護老人ホーム西陣憩いの郷」で施設長を務めさせていただき、今回、縁あって本協議会事務局にお世話になることとなりました。

本協議会会員施設並びに関係各位の皆様におかれましては、日頃、本協議会の運営に格別のご理解・ご協力を賜っており、この場をお借りして心より御礼申し上げます。

さて、近年、高齢者福祉施設を取り巻く環境は、光熱水費・食料費等の物価高騰や人材不足の深刻化等の影響により、年々、厳しさを増し、また、昨今の社会情勢の変化や制度改正により、施設現場で求められる対応も多様化・高度化しております。

本協議会といたしましては、全ての会員施設の皆様が安心して良質な高齢者福祉サービスを提供していただけよう、皆様が直面するこれらの課題やご意見を丁寧にお伺いし、その課題解決に向けて、京都市や国・府に対する政策提言や予算要望等の活動を、児玉会長を先頭に積極的に実施していくこととしております。

会員施設の皆様におかれましては、今後とも、本協議会への変わらぬご支援・ご助力を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ながら、会員施設の皆様方のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、甚だ簡単ではありますが就任挨拶とさせていただきます。



一般社団法人
京都市老人福祉施設協議会
事務局長

塩見徹也

書籍紹介

チャレンジ

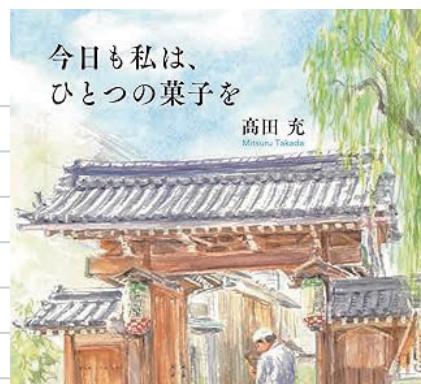
うずまさ共生の郷 総務課長 高田 充

第四回京都文学賞に自身二作目の『一菓』という小説で応募しました（淡交社からの出版にあたっては『今日も私は、ひとつの菓子を』に改題…右写真参照）。受賞したいという気持ちはもちろんありましたが、本当に叶うとは思いもしませんでした。結果は『優秀賞』と『読者選考委員賞』を同時にいただく結果となりました。

舞台は京都島原（壬生川花屋町界隈）の和菓子屋。ド素人の若者が伝統技術の世界に飛び込み、凄腕の師匠にしごかれ、挫折しそうになりながらも京菓子の真髄を受け継ごうと、ひたむきに努力し成長する物語です。

職業柄、物語の中では“老い”“認知症”“その人らしさ”という面にも触れています。介護業界で日々頑張っておられる皆様にもご一読いただければ幸いです。

最後になりますが、京都市老人福祉施設協議会会長、協議会の皆様をはじめ、たくさんのご支援を頂戴しておりますことに、心より感謝申し上げます。



介護の日 記念事業

映画上映会



11/30 (日) には市老協介護の日記念事業として、龍谷大学深草キャンパスでヤングケアラーをテーマとした映画『猫と私と、もう1人のネコ』の上映会とトークイベントを開催しました。トークイベントにはNPO法人ふうせんの会の朝田健太氏をお迎えし、ケアラー元当事者としてのお立場から、ケアは『特別な誰か』のものではない、ケアは相互的で循環的なものであり、社会全体で支え合う営みであるということ、ケアを一方的に捉える制度や意識は問い合わせが必要ではない

かというメッセージをいただきました。『語ること』そのものが次のケアを生む、『ケアを語る社会』へ向けた一步を共に踏み出せたらというお話から、介護の日記念事業開催の意義を再確認できました。

GRID KYOTO ~京都まちの文化祭~ に参加しました



11/15 (土) 市役所前広場で開催されたGRID KYOTO～京都まちの文化祭～に市老協が参加し、京都市ケアラー支援推進協議会と協同でのブース運営、ステージでの朗読劇出演をしました。市老協で即席演劇部を結成し、脚本・演出・出演を市老協職員が行い、当日は京都市介護ケア推進課の皆さんにもステージ周辺をサポートしていただきました。演劇経験のある職員1人を頼りに演劇未経験の他出演者も白熱の演技を披露し、観客の皆さんから拍手喝さいをいただきました。

KYOTO
かいごフォト
コンテスト令和7年度
KYOTOかいごフォトコンテスト
一次審査通過作品

今回も介護のすばらしさ、喜び、楽しさ、やりがい、感謝が伝わるたくさんの作品をご応募いただきました。その数22施設からなんと82作品。大激戦の一次審査を通過した、今年の「いい日いい日写真展」に展示する23作品をご紹介します！



毎年審査員を務めてくださっている、写真家の成田先生のコメントは、フォトコンテスト特設サイトにてご覧いただけます。

特設サイト
二次元コード未来のかいご
イラストコンテスト

12月17日には市老協冬季懇親会で表彰式が行われました。これからも素晴らしい作品を撮ってくださいね！

「未来のかいごイラストコンテスト」の応募期間は、12月31日をもって終了いたしました。

今後のコンテストスケジュール

一次審査	令和8年1月 9日
最終審査	令和8年1月27日
入賞発表	令和8年2月中旬～下旬 特設サイトにて予定

作品展

令和8年3月6日(金)～3月8日(日)の3日間

京都市京セラ美術館 本館2階(北東展示室)

開場時間 10:00～17:00 ※入場は16:30まで

※令和7年度KYOTOかいごフォトコンテストの作品展(いい日いい日写真展)も同時開催

応募いただいた全作品を展示いたします。ぜひ皆様お越しください。

働き方改革と 特集 ワークライフバランス

働きやすさを目指したICT化の取り組み

特別養護老人ホーム みやびのその

当施設では、働き方改革の一環として介護ロボットやICT機器を積極的に導入し、職員の業務プロセスそのものを見直しています。ミスト浴槽や見守りシステム、インカムをはじめとする機器は、従来人手に頼っていた介助・確認・連絡といった業務を補完し、職員が「身体を使う仕事」から「状況を判断し、質の高い支援を行う仕事」へと役割をシフトさせる効果を生み出しています。そのことにより職員は利用者と向き合える時間が増え、身体的・精神的負担の軽減にもつながり、ケアの質向上と安全性の確保が両立できるようになりました。

これらの取り組みは「職員が働きやすい環境づくり」が「より良いサービスの提供」につながるという考えに基づくものです。

どの機器も使い方を考える、状況に応じて使い方を変えるなどの工夫は必要ですので、創意工夫をしながら、今後もICTや機器活用も含めた生産性向上の取り組みを通じ、働きやすさと質の高いケアの両立だけではなく職員の働きがい向上を目指したいと考えています。

今後、会員施設の興味深い取り組みを継続して掲載する予定にしています。独自の取り組みや、他施設の参考になる取り組みを実施されている施設があれば、ぜひ事務局までお気軽に連絡をください。



介護の質と職員の安全を両立する ～「ノーリフティングケア」の実践～

嵐山寮特別養護老人ホーム うたの

従来の抱え上げ介助は、ご利用者に痛みや筋緊張、拘縮の進行を招くだけでなく、職員には腰痛や疲労の蓄積をもたらし、離職にもつながる要因となっていました。そこでリフトやスライディングシートなどの福祉用具を積極的に導入し、安全で安楽な移乗を標準化する環境づくりを進めています。

特にリハビリ職との連携を強化し、ご利用者の身体状況を詳細に把握したうえで、最適な介助方法を多職種で検討しています。入浴用天井走行リフトの導入により、久しぶりに湯船に浸かることができた方もおられ、QOL向上につながっています。職員からは「腰の負担が軽くなった」という声が多く、腰痛調査でも改善傾向がみられています。

一方で、機器操作の習熟やユニットごとの運用統一など、継続的な研修と仕組みづくりが今後の課題です。引き続き、ご利用者の安心と職員の健康を守る持続可能な介護の実現をめざし、ノーリフト環境の整備を進めてまいります。



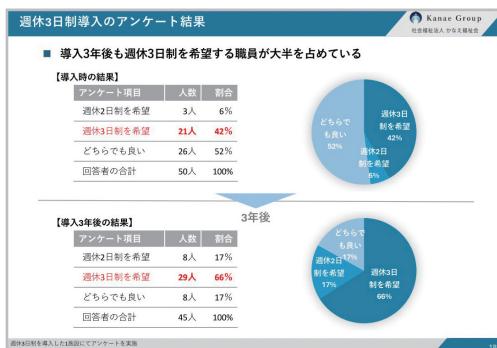
週休3日制で実現する魅力ある働き方

特別養護老人ホーム すないの家太秦

特別養護老人ホーム すないの家太秦（社会福祉法人かなえ福祉会）では、2021年6月の開設翌年となる2022年7月より、働きやすさと働きがいの両立を目指し、週休3日制の導入に取り組んでいます。

勤務形態は、週休2日制（1日8時間・週5日勤務）と、週休3日制（1日10時間・週4日勤務）をフロアごとに分け、職員が希望に応じて選択できる仕組みとしています。導入以降、求人応募者の多くが週休3日制を希望するようになり、人材確保も安定してきました。

また、3連休などが取りやすくなつたことで、プライベートの充実や満足度の高いリフレッシュにつながり、休日を活用した職員同士が自由に参加できるクラブ活動も発足するなど、職員間のつながりや新たな交流のきっかけも生まれています。こうした取り組みにより、福祉の現場でより自分らしい時間の使い方が出来る働き方へと繋がっています。勤務日数が減ることで一人ひとりが心身に余裕を持って業務に向き合えるようになり、職員からは「仕事と私生活の切り替えがしやすくなった」「長く働き続けるイメージが持てるようになった」といった声も聞かれ、働きがいの向上にもつながっています。



柊野福祉会グループにはスタッフ同士の交流会があります！

柊野福祉会



夏や冬の食事会でリフレッシュ☆

ビアパーティや新年会を開催し、コミュニケーションの輪を広げています。アットホームな雰囲気は離職率の低下に繋がり長期で貢献してくれる人財が育ちます。

ボウリングで職域を超えた交流を！

北区のMKボウル上賀茂で、月に一度、有志メンバーが集まってボウリングを楽しめます。共済会のボウリング大会にも参加しました。



毎年恒例の職員旅行へ！

柊野福祉会グループでは、職員旅行を、自分のライフワークに合わせて、3つの企画から選んで参加することができます。2025年は下記の企画をそれぞれ選んで楽しみました。

- ①2泊3日 沖縄「ジャングリア」へ行ってみよう
- ②1泊2日 沖縄体験ツアー
- ③日帰り 大阪のホテルでランチと吉本新喜劇観劇

普段は違う事業所で働いている同期の仲間や上司とも交流でき、とても楽しい時間を過ごすことができます。次はどんなところに行きたいか、職員の意見を参考にしながらまた企画していきます。

令和7年度

市老協主催
研修会等について

今年度開始以降、当会主催の研修会を以下のとおり実施いたしました。

業務等お忙しい中、企画に携わって頂きました皆様・ご参加頂きました皆様に、深く感謝申し上げます。

今後も、会員施設の運営に有益な内容の研修を企画していきますので、ぜひご参加ください。

- 5.14** 居宅介護支援部会 第1回ケアプラン研修会 (ひと・まち交流館 京都)
- 6.9** 研修委員会 第1回生産性向上に係る研修 (京都テルサ)
- 6.11** 人材確保・定着委員会 ハートメッセンジャー研修会 (京都テルサ)
- 7.1-9.30** 入門的研修・前期 (オンデマンド)
- 7.16** 居宅介護支援部会 第2回ケアプラン研修会 (キャンパスプラザ京都)
- 9.4** 第1回リーダー養成研修 (オンライン)
- 9.5** 栗山監督 (元サムライジャパン監督) 特別講演会 (グランヴィア京都)
- 9.12** 第三者評価調査員研修 (ひと・まち交流館 京都)
- 9.17** 居宅介護支援部会 第3回ケアプラン研修会 (キャンパスプラザ京都)
- 9.18** 第2回リーダー養成研修 (ひと・まち交流館 京都)
- 9.26** デイサービス部会研修「テーマ：私もあなたも自分らしく生きていく営みを共に」 (オンライン)
- 10.7** 第3回リーダー養成研修 (オンライン)
- 10.22** 介護福祉士国家試験対策研修・1日目 (YMCA国際福祉専門学校)
- 10.24** 第4回リーダー養成研修 (キャンパスプラザ京都)
- 新人職員フォローアップ研修 (長谷ビル)
- 10.30** 食事ケア部会研修「テーマ：食事時の姿勢について」 (京都テルサ)
- 研修委員会 業務継続計画 (感染症) 研修 (オンライン)
- 事務部会研修会「テーマ：労務管理について」 (経済センター)
- 11.6** リハビリ部会研修会「テーマ：実践！現場で使える福祉用具～ボッチャ体験～」 (ハートピア京都)
- 11.14** 外国人材・週休3日制度導入研修 (京都学・歴彩館)
- 11.19** 介護福祉士国家試験対策研修・2日目 (YMCA国際福祉専門学校)
- 11.25** 養護部会研修会「テーマ：障害の特性を理解し、事例から学ぶ支援の工夫」 (ひと・まち交流館 京都)
- 11.26** 居宅介護支援部会 第4回ケアプラン研修会 (ひと・まち交流館 京都)
- 12.1-3.3** 入門的研修・後期 (オンデマンド)
- 12.2** 事業継続検討プロジェクト BCP研修 (経済センター)
- 12.3** 第2回生産性向上に係る研修 (京都テルサ)



6月9日



9月18日



10月22日



11月6日



11月26日

